



安全

社員の安全確保のため、安全管理体制を見直し、安全衛生活動を推進しています。

労働安全衛生の取り組みについて

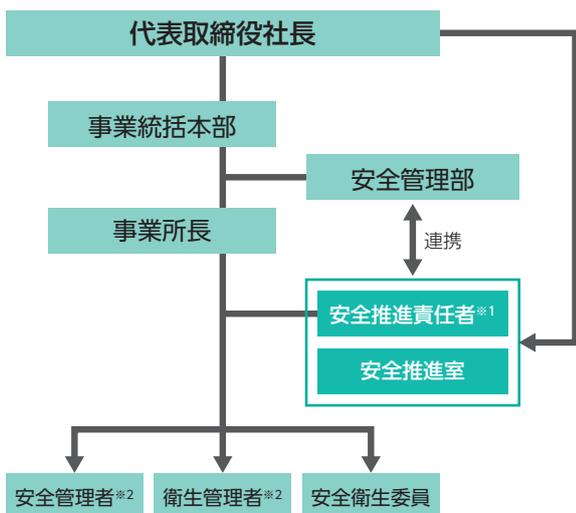
労働災害防止や社員の心身の健康への配慮等、安全な職場環境づくりに努めています。

安全衛生管理体制の構築

ダイセキグループ各社の社長を最高責任者とし、さらに各事業所で安全衛生に関する責任者を選任し、安全衛生管理体制を構築しています。

また、ダイセキグループで発生した事故の情報共有を行い、類似の事故防止に努めています。

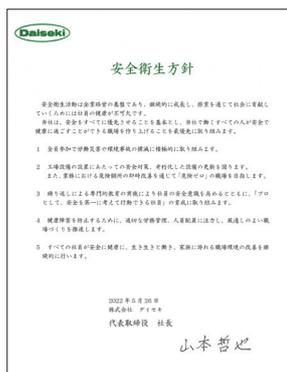
ダイセキの安全衛生管理体制



※1 安全管理に関する権限を代表取締役社長より委任
 ※2 社員数50名未満の千葉事業所では、安全管理者・衛生管理者を選任する必要がないため、安全衛生推進者を選任

安全衛生方針

ダイセキグループでは各社ごとに安全衛生方針を定め、事故防止と安全衛生の推進に取り組んでいます。安全を全てに優先し、働く社員が安全で健康に過ごすことができる職場づくりに取り組んでいます。



安全衛生方針(ダイセキ)

安全推進責任者の選任

ダイセキの各事業所では「安全推進責任者」を1名選任し、安全推進責任者を室長とした「安全推進室」を配置しています。同責任者は社長より安全に関しての権限を委譲され、事業所内で所員の指導や様々な安全対策を徹底します。

危険ゼロ職場を目指す取り組み

ダイセキグループの危険物を取り扱う職場では事故防止のために以下の取り組みを行っています。

①ヒヤリハット報告とリスクアセスメント

社員から危険を感じた点の報告を受け、改善に繋げるヒヤリハット報告制度を運用しています。また管理者が作業に伴う危険の頻度と程度を定量的に評価し対策に繋げるリスクアセスメントを定期的を実施しリスク低減に努めています。

②事故情報の共有

各社で発生した事故情報は各社内でも共有し同種事故の防止のための指導に活かしています。特に注意すべき事故については他グループ各社にも展開しています。

③安全パトロール

各職場では定期的な安全パトロールを行い、危険な作業や箇所を指摘し改善する活動を行っています。



クレーン作業の様子(システム機工)

安全教育実績

ダイセキグループの危険物を取り扱う職場では事故防止のために日々の指導と毎月の安全会議で注意喚起を行っています。それに加えて全社員を対象に安全教育を実施しています。例えば危険予知トレーニングでは作業現場で想定される危険を自ら気が付く能力を高める訓練を行っています。また乗務員の横乗り指導で指導者が乗務員に同伴して車両の運転や作業の様子をチェックし評価を行っています。安全教育を受けた社員からは、事故の怖さと事故防止のために注意すべき点を理解できたという回答が得られています。



乗務員の横乗り指導(ダイセキ九州事業所)

協力会社向けの安全教育

ダイセキではダイセキ社員のみならず、協力会社による事故防止のための安全教育にも注力しています。ダイセキではお客様の工場へ廃棄物の回収に行く乗務員の約半数は協力会社の乗務員であるため、協力会社の事故防止も重要課題と認識しています。ダイセキ関西事業所では協力会社の乗務員に対して、他社で発生した事故事例と対策や、機器の取り扱い方、緊急時の対応方法等の教育を行っています。



協力会社の乗務員に対する安全教育の様子(ダイセキ関西事業所)

労働災害発生状況

2022年は休業災害4件、不休業災害13件が発生しました。休業災害では切創、転倒等、不休業災害では廃液との接触や切創等が発生しました。

ダイセキグループの労働災害発生件数 (件)

期間	2018年 1月~12月	2019年 1月~12月	2020年 1月~12月	2021年 1月~12月	2022年 1月~12月
死亡災害	0	0	0	0	0
休業災害	7	7	7	6	4
不休業災害	10	5	2	7	13

ダイセキグループの労働災害の発生状況(度数率)※

期間	2020年 1月~12月	2021年 1月~12月	2022年 1月~12月
製造業	1.21	1.31	1.25
産業廃棄物処理業	6.95	7.36	6.52
ダイセキグループ	2.68	2.21	1.42

※ 度数率：100万延べ実労働時間あたりの労働災害による死傷者数(災害発生頻度)

ダイセキグループの労働災害の発生状況(強度率)※

期間	2020年 1月~12月	2021年 1月~12月	2022年 1月~12月
製造業	0.07	0.06	0.08
産業廃棄物処理業	0.48	0.17	0.51
ダイセキグループ	0.05	0.04	0.06

※ 強度率：1,000延べ実労働時間あたりの延べ労働損失日数(災害の重さの程度)

安全活動の講演

2023年7月、ダイセキは一般社団法人広島県資源循環協会が主催する安全大会に招待されました。同大会では、産業廃棄物処理業界の事故防止のために当社における安全の取組みについて講演し、あわせて当社7番目の事業所として稼働する広島事業所について紹介をしました。



講演の様子(ダイセキ伊藤副社長)